



到達度テストまで2週間を切りました！

3年生最初の到達度テストが目前にせまってきました。普段の学習がどれだけ身についているか実力を試すのがこのテストです。しかし、3年生のテストには、別の意味合いもあるので、そのことについてもきちんと理解してほしいと思います。

- 第一に、進学希望の場合、到達度テストの結果をもとにして、受検(験)校のすすめや面談の資料にします。
- 第二に、年間の成績は内申点として調査書に記載されます。内申点は各学年ごとに出ます。
- 第三に、1学期または2学期の通知表の成績が、私立高校選択のための大きな判断材料になります。



もちろん評定は、テストの成績だけではなく、普段の学習姿勢、ノートや作品の工夫など、総合的な判断をします。普段から一生懸命に取り組んで、その成果を自信をもって評価してもらいましょう。作品や提出物が遅れたり、出さなかったりすることはテストを白紙で出すのと同じことです。その中でもやはり到達度テストは最大の比重を占めます。健闘を祈ります。

☆テストの見直ししていますか…？

試験監督をしていてよく気になることは、早く終わってそのまま「ぐー」と居眠りモードに入る人がいることです。さぞかし、試験勉強で疲れているんだなあ。とは思いますが、ちょっと待ってください。残り時間の3分でも有効に使って、自分の解答の見直しをしていますか？「見直しくらいちゃんとしているよ」というあなた。何をチェックしていますか。見直しというのは、問題で問われていることにきちんと答えているのかも見てください。「何キロメートルですか」という問題に「何メートル」と答えていませんか？記号で“1つ”選びなさいという問題に、語句で書いたり、記号をいくつも書いたりしてませんか。

自分の答案が一応埋まったからといって安心してはいけません。人間、どこかで不注意によるミスはするものです。残り時間最後の1秒まで有効に使って、あとで「しまった！」と言わないように…

また、寝るといのは怖いもので、それが習慣化されて、試験本番の一瞬気を抜いた瞬間に寝てしまうとすぐにチェックが入り、合否の審査の対象となります、夜にしっかり寝ましょう！

6月に入り、部活動も総体に向けての最後の追い込みに入ってくると思いますが、最後の最後まで皆さんについてくるのは学習です。部活動が終わってから考えればいいやと思っている人…部活が終わったら本当に切り替わりますか？部活動を引退して、いざ、やるとなかなか気持ちが入らず、8月になったら…旅行が終わったら…明日から…など“先延ばし病”にかからないでしょうか。もちろん本格的には夏からでもいいですが、今やっておいたほうが良いことは沢山あります。後で自分が勉強に追いつまれないように早いうちから計画的にかつ効率よく学習をしてください。

受験勉強＝プチプチですよ！（進路集会の話をきちんと聞いている君には伝わるはず・・・）

学習意欲チェック



☆見直してみよう！16のチェック&ポイント☆

.....
.....

1. 日頃から、体調・健康に気をつける。
2. 計画的・体系的な学習をする。
3. 全体を把握してから、細部の勉強をする。
4. 問題に数多くあたる。
5. 弱点部分を特に繰り返して行う。
6. どこが出題されても困らぬように、幅広く学習しておく。
7. 机に向かったら、集中して学習する。学習環境を整える。
8. 日々の勉強を継続して、習慣化する。
9. わずかな時間を有効に活用する。
10. 学習を楽しむ心境になる。（充実感を味わう）
11. 自分の目標をしっかり理解する。
12. 目標を達成したいという気持ちを高めて、エネルギーにする。
13. 何があっても、絶対に諦めない粘りと根気を持つ。
14. やればできるのだと自分に言い聞かせ、思い込む。
15. 来春の自分をイメージする。（受験後の楽しみを想像する。）
16. よい友人とともに意欲を高め合う。

継続は
力なり



～ちょっと小話「じゅけん」～

今号でも使われている「受検(験)」という言葉ですが、公立高等学校の場合は、入学試験という言葉を使わずに「学力検査を受ける」という意味で【受検】という言葉を使います。それに対して、私立高校などを受ける場合は「入学試験を受ける」という意味で【受験】という言葉を使うのです。ややこしいですね…